



第64期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946

CONTENTS

- ごあいさつ
- セグメント別の概況
- トピックス
- 株式の状況
- 会社の概況
- 株主メモ

ごあいさつ



代表取締役執行役員社長

秋津勝彦

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第64期上半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の事業概況等についてご報告申し上げます。

当上半期の当社グループは、情報システムの受注が上半期100億円を達成するとともに、電子機器の接合機器は、4月に買収した超音波機器の子会社も含め、堅調に推移しました。今後はすべての事業でお客様満足度を向上させ、創り出したお客様価値を積み重ね、よりいっそう競争力を高めてまいります。

上期の業績について

当上半期における業績は、民需製品が設備投資の抑制等による市場の停滞により伸び悩んだものの、情報システムが好調に推移したことから、売上高は前年同期比7億14百万円増加の129億39百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

損益に関しましては、売上高の増加や構造改革による固定費削減の効果により営業利益が5億40百万円改善の93百万円、経常利益が5億48百万円改善の43百万円、これに法人税等調整額を計上した結果、中間純利益は前年同期比15億21百万円改善の1億28百万円となりました。

配当につきましては、誠に遺憾ながら普通株式中間配当金、第1種優先株式中間配当金および第2種優先株式中間配当金について無配とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第64期上半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の事業概況等についてご報告申し上げます。

当上半期の当社グループは、情報システムの受注が上半期100億円を達成するとともに、電子機器の接合機器は、4月

に買収した超音波機器の子会社も含め、堅調に推移しました。今後はすべての事業でお客様満足度を向上させ、創り出したお客様価値を積み重ね、よりいっそう競争力を高めてまいります。

連結財務ハイライト

■ 売上高	12,939百万円	(前中間期 12,225百万円)
■ 営業利益	93百万円	(前中間期 △446百万円)
■ 経常利益	43百万円	(前中間期 △504百万円)
■ 中間純利益	128百万円	(前中間期 △1,392百万円)

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	期数	前期	当中間期
		平成25年3月31日現在	平成25年9月30日現在
資産の部			
流動資産		19,858	18,795
固定資産		8,773	9,258
有形固定資産		6,423	6,472
無形固定資産		125	634
投資その他の資産		2,224	2,151
資産合計		28,632	28,054
負債の部			
流動負債		13,154	12,078
固定負債		9,401	9,769
負債合計		22,556	21,847
純資産の部			
株主資本		4,102	4,231
資本剰余金		5,895	5,895
利益剰余金		750	750
自己株式		△2,531	△2,402
その他の包括利益累計額		△11	△12
純資産合計		1,973	1,975
負債純資産合計		6,075	6,207
		28,632	28,054

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	前中間期	当中間期
		自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日
売上高		12,225	12,939
売上原価		9,520	10,272
売上総利益		2,704	2,666
販売費および一般管理費		3,151	2,573
営業利益又は営業損失(△)		△446	93
営業外収益		47	38
営業外費用		105	88
経常利益又は経常損失(△)		△504	43
特別利益		146	-
特別損失		1,571	0
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)		△1,929	43
法人税等		△537	△85
少数株主損益調整前中間純利益又は少数株主損益調整前中間純損失(△)		△1,392	128
中間純利益又は中間純損失(△)		△1,392	128

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント別の概況

■情報システム

売上構成比率 **58.5%**

■売上高 **75億67百万円**
前年同期比 **11.3%増**

■セグメント利益 **3億11百万円**
前年同期比 **3億84百万円改善**

売上高は、補正予算等の効果により指揮・統制システム等が好調に推移したため大幅に増加し、セグメント利益は売上高の増加および開発プロジェクトの管理の強化により改善しました。



指揮・統制装置 表示・音響装置 電波応用装置 ハイブリッドIC

トピックス

新製品

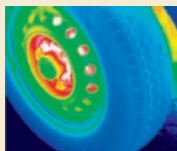
InfReC H8000

本製品は、最も高性能な赤外線検出素子といわれる「InSb（インジウムアンチモン）」を用いたセンサを搭載し、非常に高精細な熱画像を取得できます。さらに、温度分解能0.02℃（※1）の高感度撮影と、最速3000分の1秒（※2）の高速シャッターを実現し、写真（右）のように高速走行中の車のタイヤもしっかり捉えることが可能です。解像度・感度・応答性のすべてを高次元で実現したハイエンドモデルとなっております。

また、測定波長2～5μmという短波長領域の感度特性を生かし、一般的な非冷却型サーモグラフィカメラでは捉えられない微小な世界を捉えることができます。さらにオプションのフィルタにより、火災やガラスの温度測定にとどまらず、ガラス越しや火災越しでの撮影も実現しました。

（※1）30℃黒体炉にて（画質改善なし）

（※2）シャッター速度は測定温度レンジにより異なります。



高速走行中のタイヤ

■プリント配線板

売上構成比率 **13.4%**

■売上高 **17億39百万円**
前年同期比 **0.7%減**

■セグメント損失 **30百万円**
前年同期比 **21百万円悪化**

売上高は、半導体計測装置市場向け製品が低調に推移したことから、減少となりました。損益は、原価率の悪化により減少しました。



携帯電話基地局用バックボード 半導体プローブカード パーソナルテストボード（ソケット面）

新製品

ガルバノスキャナシステム AGS-F301

当社シングルモードファイバレーザ溶接機（※1）と組み合わせ使用することにより、その長を最大限に引き出し、短時間で高い接合強度を実現する「ガルバノスキャナシステム」を発売しました。

ガルバノスキャナとは、レーザ光の照射位置を高速に移動させる装置です。レーザ光を、電気制御で角度を変えることができるミラーで反射することにより移動させます。シングルモードファイバレーザ溶接機から連続出力されるレーザ光を高速移動させることで、深く溶け込んだ強度の高い多点溶接や広いエリア内の溶接が短時間で可能となります。

本システムの発売により、スポット、シーム、気密封止などの多様な溶接方法を必要とする電子機器や自動車、医療、エネルギーなどの各分野での生産性向上に貢献いたします。

（※1）昨年7月に発売した製品です。写真は、セグメント別の概況の電子機器に掲載しております。



■電子機器

売上構成比率 **28.1%**

■売上高 **36億32百万円**
前年同期比 **1.0%減**

■セグメント損失 **1億87百万円**
前年同期比 **1億76百万円改善**

売上高は、接合機器が好調に推移したものの、赤外・計測が価格競争の激化に加えプロジェクト収束の影響もあり低調だったため、減少となりました。損益は、費用削減および構造改革の効果により改善しました。



ファイバレーザ溶接機 超音波ウェルダ InfReC R300SR シリーズ Thermo GEAR G100EX/G120EX 全自動シーム溶接機 データアキュイジション装置 RA2300A

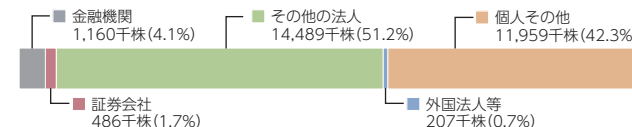
株式の状況

（平成25年9月30日現在）

	普通株式	第1種優先株式	第2種優先株式
(1) 発行可能株式総数 80,000千株	76,000千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式の総数 30,600千株	28,300千株	800千株	1,500千株
(3) 株主数	3,463名	1名	1名

（注）第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社 が全株所有しております。

(4) 所有者別分布の状況（普通株式）



会社の概況 (平成25年9月30日現在)

会社の概況

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 昭和35年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 1,111名(連結) 794名(単独)
- 証券コード 6946
- 営業所および工場
本社、横浜事業所、新横浜事業所、府中支店、中部支店、西日本支店、熊谷営業所

役員状況

取締役および執行役員

代表取締役 執行役員社長	秋津勝彦
取締役 執行役員常務	川島雅幸
取締役 執行役員	関芳雄
取締役 執行役員	露木満
取締役 執行役員	齊藤幸夫
取締役 執行役員常務	西村知典
取締役 執行役員常務	延岡健太郎
執行役員	井川裕三
執行役員	土川稔
執行役員	新井孝男

(注) 西村知典および延岡健太郎の両氏は、社外取締役であります。

監査役

監査役(常勤)	清水敏夫
監査役(常勤)	鈴木智雄
監査役	山本徳男
監査役	伊藤茂樹

(注) 鈴木智雄、山本徳男、伊藤茂樹の各氏は、社外監査役であります。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.avio.co.jp/ir/index.htm>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
⇒ 上記電話照会先をお願いいたします。

当社ホームページのご案内

ホームページにて最新のIR情報等
をご覧ください。

<http://www.avio.co.jp>

日本アビオニクス

検索



日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp>

